

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 23 年 9 月 15 日 (2011.9.15)

【公開番号】特開 2010-39957 (P2010-39957A)  
 【公開日】平成 22 年 2 月 18 日 (2010.2.18)  
 【年通号数】公開・登録公報 2010-007  
 【出願番号】特願 2008-204833 (P2008-204833)  
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/12 M

G 0 6 F 3/12 D

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 8 月 1 日 (2011.8.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像が形成された用紙に対して後処理を実行するためのジョブを送信するジョブ制御装置であって、

前記画像を形成するために指定された用紙に対して当該画像が形成される前における当該用紙のサイズと当該画像が形成された後における当該用紙のサイズとを用いて、伸縮量を導出する導出手段と、

前記導出手段で導出された伸縮量をもとに、前記後処理を実行する位置を変更する位置変更手段と、を有することを特徴とするジョブ制御装置。

【請求項 2】

前記導出手段は、前記ジョブを処理するために指定された用紙サイズと、前記後処理が実行されるとき用の用紙サイズとの差分から伸縮量を導出することを特徴とする請求項 1 に記載のジョブ制御装置。

【請求項 3】

前記位置変更手段は、前記後処理として実行が指示されている内容と、前記後処理を実行する内容を示す後処理パラメータの関連する用紙方向との少なくとも何れか一方に応じ、前記後処理を実行する位置を異なる方法で調整することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のジョブ制御装置。

【請求項 4】

前記位置変更手段は、前記ジョブに従って後処理される用紙に、複数の大きさの用紙が混在している場合、各用紙の長さを判定し、最も短い用紙の伸縮量を基準として、前記後処理を実行する位置を調整することを特徴とする請求項 1 ~ 3 の何れか 1 項に記載のジョブ制御装置。

【請求項 5】

前記位置変更手段は、前記用紙の伸縮により生じる仕上がりサイズの伸縮を考慮し、当該用紙が伸縮する前の仕上がりサイズが維持されるように、前記後処理を実行する位置を調整することを特徴とする請求項 1 ~ 4 の何れか 1 項に記載のジョブ制御装置。

【請求項 6】

前記位置変更手段は、前記伸縮量をもとに前記後処理を実行する位置を変更するか、用

紙が伸縮する前の仕上がりサイズが維持されるように前記後処理を実行する位置を調整するかの何れかを、ユーザによる選択に応じて行うことを特徴とする請求項 5 に記載のジョブ制御装置。

【請求項 7】

画像が形成された用紙に対して後処理を実行するためのジョブを送信するジョブ制御方法であって、

前記画像を形成するために指定された用紙に対して当該画像が形成される前における当該用紙のサイズと当該画像が形成された後における当該用紙のサイズとを用いて、伸縮量を導出する導出ステップと、

前記導出ステップで導出された伸縮量をもとに、前記後処理を実行する位置を変更する位置変更ステップと、を有することを特徴とするジョブ制御方法。

【請求項 8】

画像が形成された用紙に対して後処理を実行するためのジョブを送信するための処理をコンピュータに実行させるためのコンピュータプログラムであって、

前記画像を形成するために指定された用紙に対して当該画像が形成される前における当該用紙のサイズと当該画像が形成された後における当該用紙のサイズとを用いて、伸縮量を導出する導出ステップと、

前記導出ステップで導出された伸縮量をもとに、前記後処理を実行する位置を変更する位置変更ステップと、をコンピュータに実行させることを特徴とするコンピュータプログラム。